

II 事例研究

1 地域のネットワークでつくる活動事例

子どもは自然の中で群れて遊んで学んでいく

NPO法人「自然と人間の森おおひら」では、ものづくりや自然体験のために施設を開放し、子どもたちの自由な発想力や創造力を育むための活動を展開

関わっている人〈幼児、小学生、中学生、成人〉

☆活動名 ものづくりと自然体験土曜塾



【活動の趣旨】 自然をできるだけ残し、昔の里山を再生した10ヘクタールのフィールドで、ものづくりや自然体験、レクリエーション活動、異世代との交流活動等を実施。自然のサイクルに合わせたプログラムで月に1, 2回行っている。

【連携】 大平町教育委員会が後援。広報等を依頼。
自然体験土曜塾

【対象・人数・条件】 幼児、小・中学生が対象で、毎回40～50名。親子の参加は大歓迎。傷害保険に加入し、材料費等実費負担（200～500円程度、別途損害保険料）となる。

【始めるきっかけ】 失われた身近な里山の再生を図り、その自然を子どもたちに返して自然にどっぷりつかせたい、里山での学習や遊びをとおして、人間と自然が共生する大切さを学び、人間としての「生きる力」を身に付けてほしいとの願いから、平成14年に開校した。

【広報のしかた】 実施要項等は毎回作成し、実施日の約1ヶ月前に大平町内小・中学校を通じて児童・生徒に配布している。近隣市町の小・中学校へも配布。個別に希望する会員や参加者は、事務局へ登録（住所・FAX番号）すると直接送付される。

【活動内容】

①ものづくり

- ・竹と木のクラフト（カブト虫、クワガタ、せみなどの昆虫模型や写真立てづくり）・竹のおもちゃ（竹とんぼ、水でっぼう、竹馬などをつくって遊ぼう）
- ・ペットボトルロケット（ロケット発射実験、電気の不思議発見）
- ・クリスマスリース（里山のつた、木の葉、実を材料として）
- ・そば打ち（親子でおそば屋さん開店）

②自然体験

- ・竹を使ってごはんをたこ（火起こし、たきぎ拾い、竹で食器づくり）
- ・森のレストラン開店（栗拾い、きのこ採り、バーベキュー）
- ・森のきこりさん体験（雑木林の木や竹を切り倒す、しいたけ栽培のほだ木づくり）
- ・しいたけってどうやってつくるの？（しいたけのこま打ち、しいたけの収穫体験）

③自然観察

・昆虫博士全員集合！（里山の自然の中でカブト虫やクワガタとり、昆虫について学ぶ）・森のトトロ発見！（どんぐり拾いをしながら里山観察、それを材料にものづくり）

☆NPO 法人「自然と人間の森おおひら」会員（現在約200名）が得意分野の指導サポーターとして活動。必要に応じて、専門家を要請している。

【成果と課題】

平成15年度「ものづくりと自然体験土曜塾」には約500名の親子の参加があった。子どもも大人もいっしょになって自然に親しみ、ものづくりや人とのふれあいをとおして、人間としての“豊かさ”が生まれている。里山を訪れた人も年間で3,500名を数え、子ども会育成会、家庭教育学級、県外の中学校などの利用も増えている。

子どもは一人ひとり違っている。子どもの興味・関心、深く学びたいという願いを実現させるための指導ボランティアの育成になお一層努めたい。

☆これから始める人へのメッセージ
子どもたちに“命”を伝えたい。命を伝える人を増やしていきたい。 自分でやってみようという思い（志・情熱・意欲）を大切にしよう！

NPO 法人「自然と人間の森おおひら」

代表者 山口 市作

所在地 〒329-4405
大平町西山田 857

電話/FAX 0282-45-1677/0282-45-1688

